

広島県政の概要について

～ 県政報告会 ～

2015年10月23日 広島県議会議員
自由民主党広島県議会議員連盟 出原 昌直

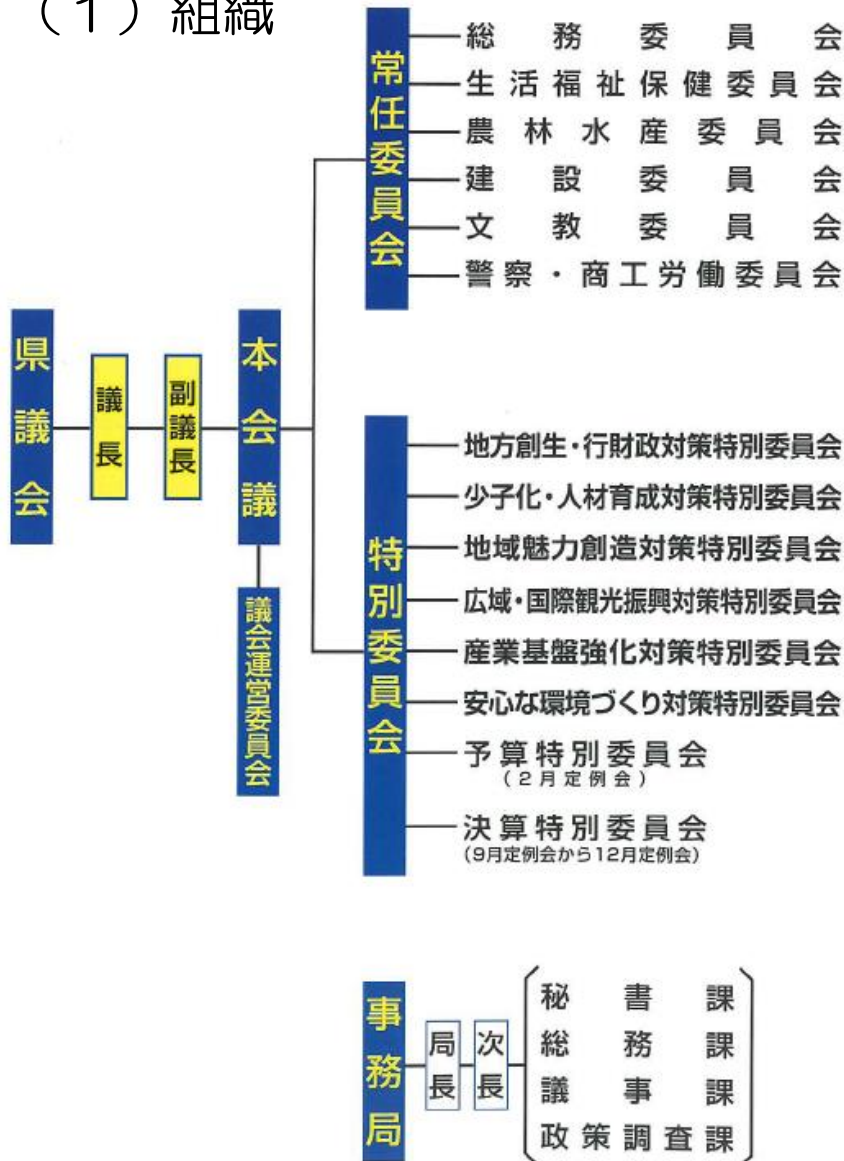
本日の説明内容

- 1 広島県議会の概要
- 2 最近の県政の動き
 - (1) 「ひろしま未来チャレンジビジョン」の改定
 - (2) 今後の県営産業団地の造成について
- 3 私の活動状況について

1 広島県議会の概要

広島県議会の構成

(1) 組織



(2) 本会議・委員会

本会議

定例会

2月、6月、9月、12月の4回開会

臨時会

必要に応じて開会

常任委員会

定例会中と、閉会中の毎月1回

特別委員会

必要に応じて開催

予算特別委員会

2月定例会で設置

決算特別委員会

9月定例会で設置

11月まで9回開催し、12月定例会で報告

◆ 議場の様子

本会議場（平成27年9月定例会）









会派の状況

辻恒雄	犬童英徳	奥原信也	林正夫	平田修己	宇田伸	山木靖雄	山崎正博
64	63	62	61	60	59	58	57
宮政利	中原好治	東保幸	田川寿一	栗原俊二	日下美香	松岡宏道	児玉浩
48	47	46	45	44	43	42	41
	内田務	金口巖	岩下智伸	桑木良典	福知基弘	高木昭夫	山下智之
32	31	30	29	28	27	26	
		山下真澄	西村克典	瀧本実	尾熊良一	下西幸雄	
			18	17	16	15	14
				西本博之	的場豊	鷹廣純	石津正啓
				8	7	6	5

中本隆志	佐々木弘司	富永健三	城戸常太	砂原克規	檜山俊宏	松浦幸男	岡崎哲夫
56	55	54	53	52	51	50	49
高山博州	安井裕典	小林秀矩	緒方直之	沖井純	宮本新八	下原康充	河井案里
40	39	38	37	36	35	34	33
森川家忠	下森宏昭	窪田泰久	大島昭彦	狭戸尾浩	井原修	佐藤一直	
25	24	23	22	21	20	19	
伊藤真由美	宮崎康則	三好良治	上田泰弘	渡辺典子			
13	12	11	10	9			
出原昌直	畑石顕司	石橋林太郎	平本徹				
4	3	2	1				

所属会派

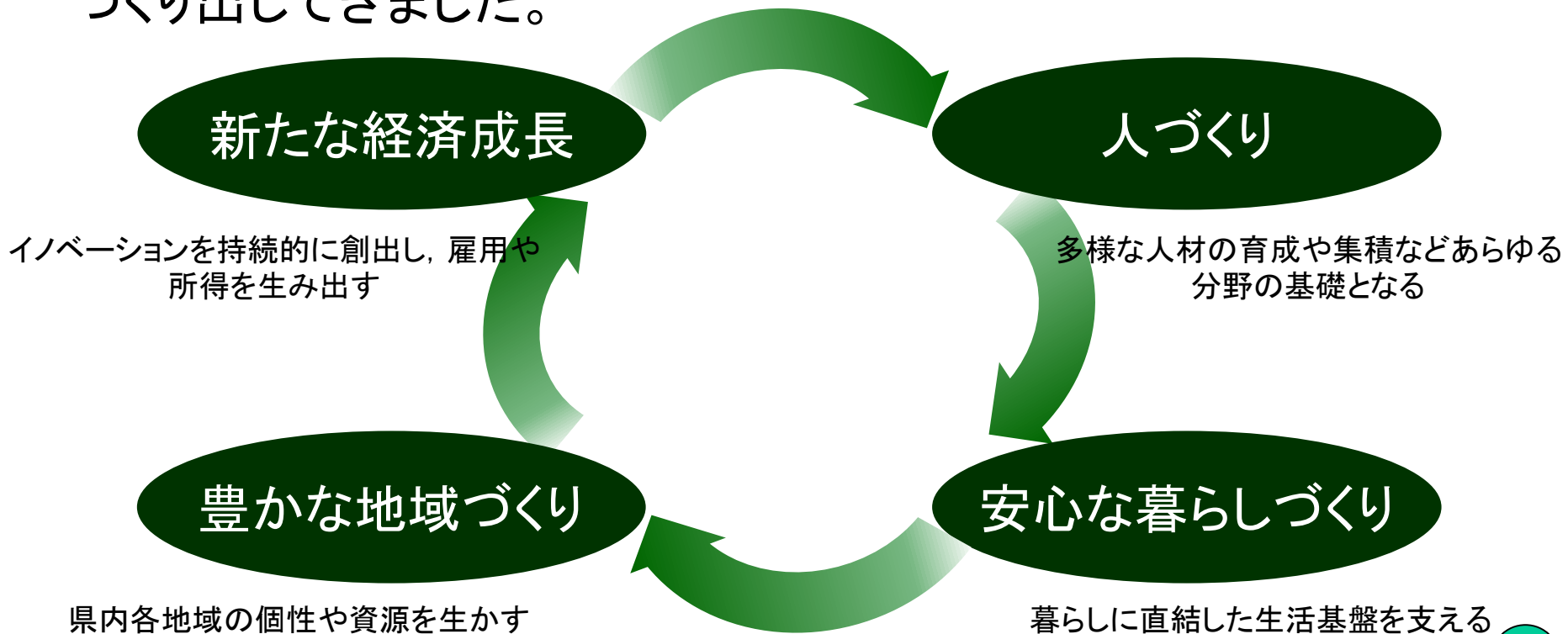
-  = 自由民主党広島県議会議員連盟 = 30人
 -  = 広島県議会民主県政会 = 15人
 -  = 自由民主党広島県議会議員会 = 7人
 -  = 公明党広島県議会議員団 = 6人
 -  = 自由民主党広島県議会広志会・つばさ = 5人
 -  = 日本共産党 = 1人
- 計 64人

2 最近の県政の動き

(1) 「ひろしま未来チャレンジビジョン」の改定

ひろしま未来チャレンジビジョン

本県の目指す姿(将来像)を県民と共有し、一緒に、新たな広島県づくりを推し進めることを目的に、平成22(2010)年10月に「ひろしま未来チャレンジビジョン」策定し、4つの政策分野を相互に関連させ、相乗効果をもたらしながら好循環する流れをつくり出してきました。



将来を展望する上で、特に考慮が必要な情勢変化

❖ 人口減少の進行

今後、団塊ジュニア世代が人口再生産年齢を過ぎることで出生数の減少は更に進むおそれがあります。

- 一方で …▷ 県民の希望出生率1.85 ※26年の広島県の合計特殊出生率は1.55
- ▷ 県内高校生・大学生の6割超が県内進学・就職を希望
- ▷ 県出身の東京・大阪圏在住者の7割がUターンを検討

このような「子供を持ちたい」「広島に住み続けたい」という県民一人ひとりの希望を実現できる社会をつくり出すことが必要です。

❖ 東京一極集中の加速化

景気回復や東京オリンピック開催で今後も加速すると予想される東京一極集中について、その流れを逆転し、広島への流れをつくり出す必要があります。

❖ グローバル化新局面の到来

アジアの経済成長に伴う競争激化、外国人観光客の大幅な増加など、グローバル化の新たな局面への的確な対応が必要です。

❖ 安全・安心に対する意識の高まり

東日本大震災や県内での大規模土砂災害をきっかけとする防災意識の高まりを、県民の皆さんと共に具体的な行動につなげていく必要があります。

改定の趣旨

- ・ チャレンジビジョン策定から5年経過し、本県を取り巻く社会経済環境が大きく変化



様々な情勢変化を踏まえ、これまでの取組の成果や変化の兆しをより確かなものに

- ・ 国においても、人口減少・超高齢化という課題に対応するため、地方創生に係る大胆な政策の実行を打出し



これまで本県がチャレンジビジョンに基づいて進めてきた取組を更に加速する追い風に



本県の目指す姿の実現に向けて、県民の皆様と一緒に「**一步先へ**」踏み出すため、チャレンジビジョンを発展的に見直し、新たな挑戦を推し進めます。

目指す姿 ★今後5年間で目指す姿を県民の皆様と共有するため、新たに設定

基本理念を基に、

仕事でチャレンジ！暮らしをエンジョイ！ 活気あふれる広島県

～仕事も暮らしも。欲張りなライフスタイルの実現～

を目指します。

《県民一人ひとりが主役の新しいライフスタイル》



長距離通勤と残業で
帰宅後はいつもぐったり

趣味のお稽古にも、
最近行ってないなあ。

早く帰って子供との
時間を大切にしたい…

キャリアアップは
あきらめて、仕事を
セーブしないと。



仕事優先？
暮らし優先？

広島県は、
どちらもあきらめ
ない、欲張りな
ライフスタイルを
応援します！



暮らしの充実⇒仕事の生産性up!⇒欲張れる好循環へ

目指す姿の実現に向けた視点

目指す姿の実現に向けて、4つの政策分野の好循環をより一層推進するため、次の3つの視点を掲げています。

イノベーション

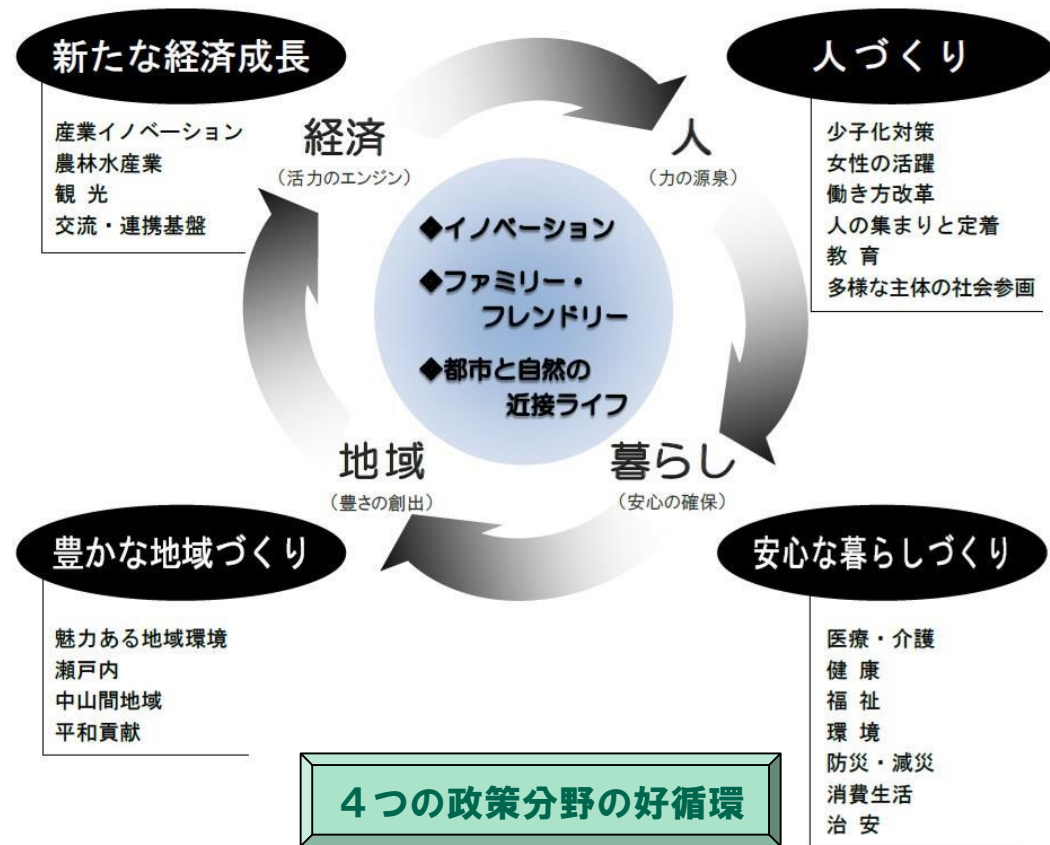
フロンティア精神にあふれた県民性を生かし、様々な分野でイノベーションを起こして、生産性や暮らしの利便性の向上を図る。

ファミリー・フレンドリー

保育・教育・医療の充実、住環境の向上など、家族で住みたい環境づくりを通じ、誰もが暮らしやすい広島県の実現を目指す。

都市と自然の近接ライフ

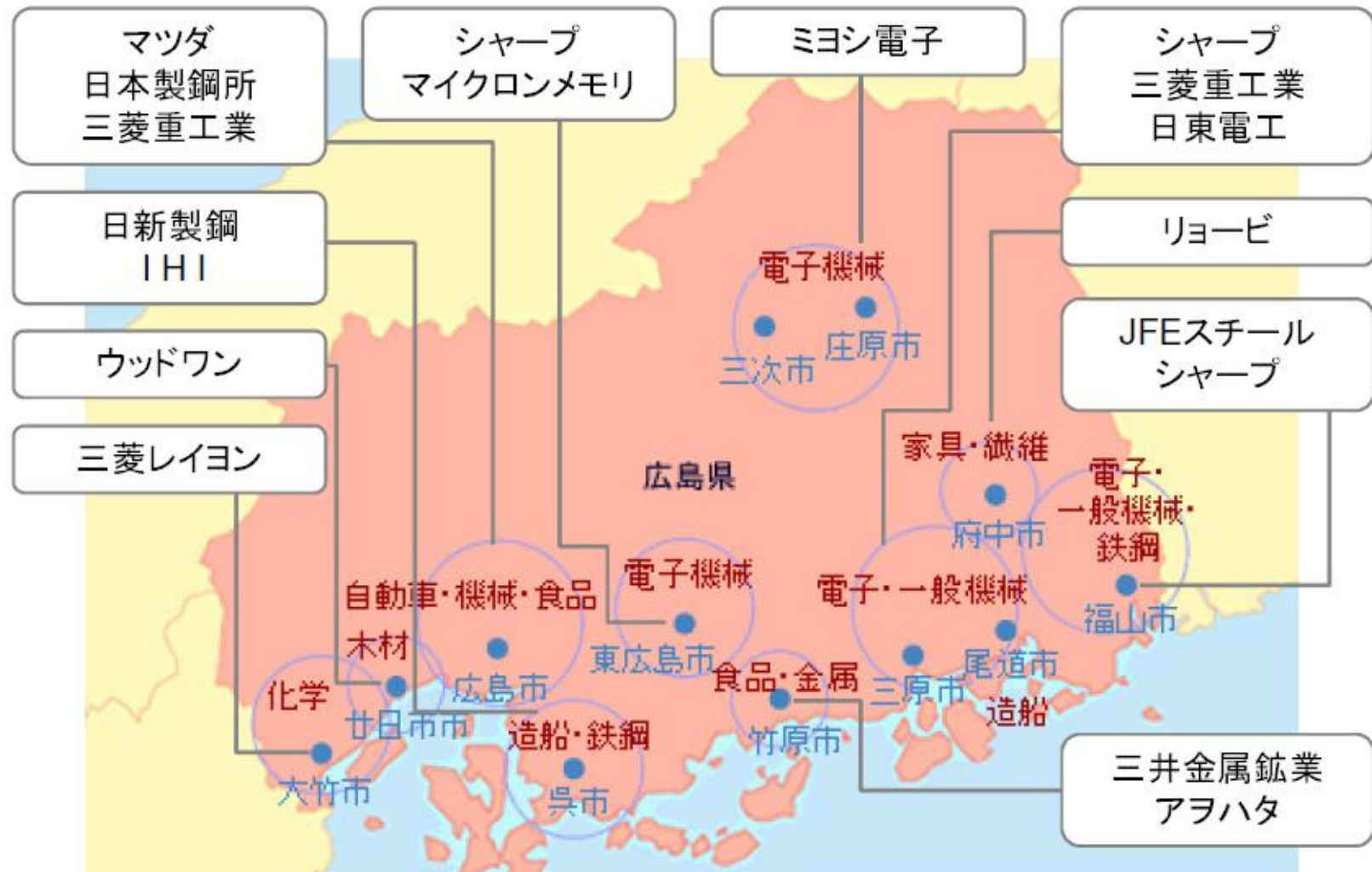
都市と自然が近く、どちらの魅力も満喫できる環境を生かし、都市も自然もスマートに楽しむライフスタイルの魅力に磨きをかける。



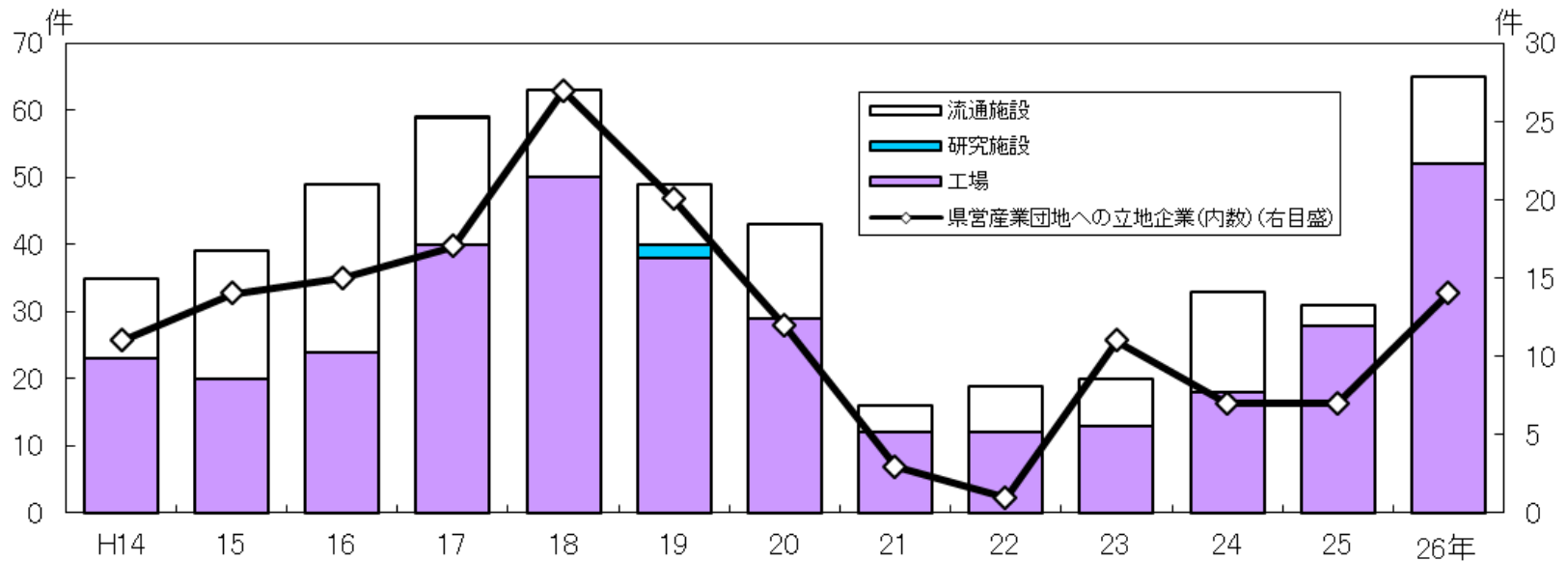
2 最近の県政の動き

(2) 今後の県営産業団地の造成について

県内産業の状況



企業の立地動向



区 分		14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	前年比(%)
工 場	件数	23	20	24	40	50	38	29	12	12	13	18	28	52	85.7
	面積(ha)	17.2	66.5	39.3	34.4	65.4	36.6	38.3	17.7	6.2	19.5	21.0	87.5	114.0	30.3
研 究 施 設	件数	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	—
	面積(ha)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
流 通 施 設	件数	12	19	25	19	13	9	14	4	7	7	15	3	13	333.3
	面積(ha)	16.2	16.8	36.6	20.8	22.8	15.2	43.9	2.7	6.6	6.3	12.1	1.6	14.1	781.3
合 計	件数	35	39	49	59	63	49	43	16	19	20	33	31	65	109.7
	面積(ha)	33.4	83.3	75.9	55.2	88.2	52.2	82.2	20.3	12.8	25.8	33.1	89.1	128.1	43.8
県営産業団地への立地企業(内数)	件数	11	14	15	17	28	20	12	3	1	11	7	7	14	100.0
	面積(ha)	8.5	35.4	18.8	26.0	52.2	18.3	27.5	12.4	2.0	11.6	7.4	19.9	17.9	▲10.1

(注) 端数処理のため計が合わない場合がある。

(資料) 県県内投資促進課

県営産業団地の現状



分譲中の県営産業団地（平成26年度末現在）

区分	団地名	市町名	企業用地面積	分譲状況	
				分譲済面積	未分譲面積
企業 会 計	佐伯工業団地	廿日市市	23.3	21.8	1.5
	千代田工業・流通団地（Ⅰ期）	北広島町	30.7	11.5	19.2
	テクノタウン東広島	東広島市	7.9	7.2	0.7
	高屋東工業団地 H27年 完売	東広島市	21.2	17.3	3.9
	竹原工業・流通団地	竹原市	13.8	10.4	3.4
	大和工業団地 H27年 完売	三原市	17.5	15.9	1.6
	三原西部工業団地（惣定地区）	三原市	20.5	17.6	2.9
	久井工業団地	三原市	18.9	15.1	3.8
	新市工業団地	福山市	12.2	11.1	1.1
	三次工業団地（Ⅲ期）	三次市	8.3	1.7	6.6
安浦産業団地	呉市	17.5	11.7	5.8	
	小計		191.8	141.3	50.5
一般 会計	広島臨空産業団地	三原市	4.6	0.7	3.9
	小計		4.6	0.7	3.9
	合計		196.4	142.0	54.4

（単位：ha）

平成27年
6月定例会
知事答弁

- ◆ 近年の景気回復等を背景に企業立地が進んでおり、立地ニーズに対応可能な産業団地が減少しているという状況から、**早期に産業用地を確保する必要**がある。
- ◆ 今後、新たな産業団地を整備する場合には、雇用などの産業施策の効果も踏まえた評価や、県全体での採算性による評価を取り入れるとともに、**地元市町からも応分の負担を求めるなど、新たな考え方により進めていくことが重要**である。

3 私の活動状況について

中小企業大学校主催 地域資源活用事業支援研修

- 地域資源活用方法
- 地域発ビジネスの発掘
- 地域資源、地域ビジネスの戦略と展開
- 地域製品の流通

2015/6/19



埼玉りそな銀行主催セミナー

- 観光資源を活用した事業と雇用創出

2015/8/25



福井県 永平寺 町のブランド化検討会

2015/9/12



今治タオル美術館視察

2015/9/19



FMLレディオビンゴ
『出原昌直の地域再発見!』
第2・4木曜日 18:40~



ご清聴
ありがとうございました